

北九州市立病院機構 第19回理事会議事録

- 1 日 時 令和5年6月21日(水) 15:00～
- 2 会 場 北九州市立商工貿易会館5階501会議室
- 3 出席者 中西理事長、中野副理事長、中野理事、岡本理事、松本理事
(オブザーバー) 中野監事、和唐監事、河端保健福祉局健康医療部長
- 4 議 案 (1) 令和4年度決算について
(2) 令和4年度業務実績報告書について
(3) 第1期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績報告書について

5 議事要旨

- 議案1 事務局から議案説明及び後日監査報告書を添えて書面決議を行い、原案どおり可決された。
- 議案2 事務局から議案説明を行い、原案どおり可決された。
- 議案3 事務局から議案説明を行い、原案どおり可決された。

6 質疑応答要旨

○報告事項2

(松本理事) 令和4年度業務実績報告書の評価は全て3以上で順調に実施しているという評価である。医業収益が予算比10億円減という話もあったが、この評価の中に3以下があれば、そこが重点的な次の目標になると思うが、そういった課題の分析・解析をやっているのか。

(事務局) 医業収益については、新型コロナの影響があり減収したが、補助金を含めた収入面については一定額を確保出来たため、今回の評価に至っている。

(中西議長) 1番の問題点は、経営の問題だと思っている。補助金により黒字を確保することができたが、補助金が無ければ相当厳しい状況であったと思う。これは2つのファクターがあり、1つはコロナ患者を看るために、手術、外来、救急の制限に加え病棟を一部閉鎖せざるを得ない状況であったため、不可抗力的な意味での減収があった。

一方で、この機構は基本的に赤字体質の構造であり、努力すべきところとして、医業収益の向上、患者数の増加、病院の医療の質や患者やご家族の評価を高めることなどが非常に重要である。

今回は、コロナとその補助金の影響により経営上の課題が少し分かり難くなってしまったが、今年度はこれらの課題を乗り越えるために努力していきたいと思う。

以上